

## 1 名 称 「科学捜査展」

## 2 ねらい

- (1) 事故や犯罪などに対する事件を解決するための一つの手段として科学捜査が大切であることを知る。
- (2) 様々な展示物や科学捜査体験を通して、鑑定方法を知り、科学技術の生かされ方を理解する。
- (3) 物的証拠の収集、分析などの科学捜査手法を通して、科学的な知識、考え方を身につけるきっかけとする。

- 3 開催期間** 平成 29 年 7 月 15 日(土)～平成 29 年 8 月 20 日(日)【開館：33 日間】  
開展式を平成 29 年 7 月 15 日(土)に開催する。  
◇休館日：7 月…18 日(火), 24 日(月), 31 日(月)  
8 月…7 日(月)

- 4 会 場** スリーエム仙台市科学館：特別展示室(2 階)・  
エントランスホール(3 階)

## 5 主催・共催・後援等(予定)

- (1) 主 催 仙台市教育委員会 ※ 主管 仙台市科学館
- (2) 協 力 宮城県警察本部, 仙台市消防局, 大阪大学
- (3) 後 援 宮城県教育委員会, 河北新報社, 朝日新聞仙台支局, 毎日新聞仙台支局,  
読売新聞社東北総局, 産経新聞社東北総局, 日本経済新聞社仙台支局  
NHK 仙台放送局, TBC 東北放送, 仙台放送, ミヤギテレビ,  
KHB 東日本放送, CAT-V, J:COM 仙台キャベツ,  
株式会社エフエム仙台, 仙台シティエフエム

## 6 内 容(案)

### I 概要

今回の特別展は、近代捜査で最も進んできた分野といえる「科学捜査」をテーマとして扱う。様々な展示や体験コーナーを通して「科学捜査」とはどのようなことなのかを知り、事件解決の重要な役割を担っている一つであることに気づいてもらう。また、鑑定方法を体験する装置や解説パネル、映像などで自ら学ぶことにより、様々な方法があることを知るだけでなく、自ら考えるきっかけの場となるように展示構成を工夫したい。関係外部機関とも連携して、身近に感じる内容にすることとそれらの仕事にも触れる機会にもしたい。

さらには、これまでの科学技術の進歩のおかげで、様々な鑑定方法が利用されるようになったことや今後期待される分野の紹介も行い、広くは科学の私たちの生活への生かされ方を理解できるような特別展にしたい。

### II 展示内容

#### (1) 特別展示室内展示関係

特別展示室の展示は科学技術館の巡回展示物科学捜査展 SEASON2 を中心として、科学捜査についての「紹介コーナー」と科学捜査の手法を実際に体験する「体験コーナー」の 2 つのコーナーで構成する。また、過去の犯罪例を参考にして考え出された防犯グッズなどを紹介する「未来捜査研究室」も会場内に設置する。また、幼児から大人まで幅広い年代に楽しんでいただくため、映画「名探偵コナン」を特設シアターにて上映する。

### ① 科学捜査「紹介コーナー」

- ・ 捜査ファイルNo.1では法医学分野の紹介を行う。交通事故では、事故状況からシミュレーションでどのように事故が起こったかを検証し、コンピュータ映像やパネルで紹介する。血痕の付着状況から推測できる事件状況についてもコンピュータ映像やパネルで紹介する。
- ・ 捜査ファイルNo.2では化学分野の紹介を行う。火災の原因究明のために、火元の特定や燃え方の比較、自然火災などの火災鑑定の方法について、コンピュータ映像やパネルで紹介する。関連する展示物として、ヒントを頼りに目的にたどり着く、ダンボール迷路にチャレンジを設置する。
- ・ 捜査ファイルNo.3では物理学分野の紹介を行う。現代の各種センサー技術の発展について紹介する展示物として、複数のセンサー網をかいくぐり、目的にたどり着くゲームを体験できる防犯センサーにチャレンジを設置する。
- ・ 捜査ファイルNo.4では事件や事故現場で行う鑑定についての紹介を行う。毛髪鑑定や足跡鑑定について、展示物やパネルで紹介する。
- ・ 捜査ファイルNo.5では心理学分野の紹介を行う。ファイリング技術の一つとして、コンピュータで似顔絵を作成する展示物デジタル似顔絵にチャレンジを設置する。
- ・ 捜査ファイルNo.6では文書分野についての紹介を行う。様々なところに付着している指紋の検出や鑑定方法について、展示物とパネルで紹介する。

#### ※「紹介コーナー」でもミニ体験

- ・ 各捜査方法の紹介だけでなく、実際に指紋を採取したり、足跡を採取したり、体験できるものは実際に行うことができるようにする。

### ② 「未来捜査研究室」

これまでの犯罪捜査で得られたデータをもとに、現在の科学技術の発展と共に防犯対策に生かされた技術や防犯グッズなどについて紹介する。

### ③ 科学捜査「体験コーナー」

- ・ 架空の事件ストーリーの中で、タブレット端末を捜査手帳に見立て、自分で考えながら捜査の流れを体験「科学捜査体験」する。期間中3～4話設定予定。
- ・ 個人のスマートフォンや貸出用タブレットを用いる。各自のスマートフォンにはアプリのインストールが必要。それぞれが科学捜査に関わるアプリケーションを起動して、上の「科学捜査体験」以外に会場内で誰でも簡単に捜査の流れを体験することができるようにする。

### ④ 特設シアター

「名探偵コナン 探偵たちの星月夜（スターリーナイト）」

捜査に関連するアニメとして、特別展示室内に特設シアターを設置して「名探偵コナン 探偵たちの星月夜（スターリーナイト）」を上映する。上映時間は約25分。幅広い年代に支持されているアニメである名探偵コナンを上映することで、特別展への関心を高めてもらう。

## (2) エントランスホール展示関係

「デュアルタスク体験 足踏み計算ゲーム」

エントランスホールで「歩き方」に関する体験型コンテンツの展示を行う。今回の特別展で展示する認知能力計測は、「歩く」・「考えて答える」を同時に行うようすを解析することで「脳の健康度」を判定するコンテンツである。体験を終えると、個人の診断シートを受け取ることができる。また、大阪大学の研究についても紹介する。人の「歩き方」を過去の体験者の「歩き方」と比較し、歩行年齢の推定や歩き方の違いを判別することができることも紹介する。それらは犯罪捜査への応用が期待されていることにも触れる。

## 7 関連イベント

特別展への関心を高めるためのイベントを開催する。外部関連機関（警察・消防）と連携をとって、イベントの開催を依頼し実施する。

<警察>・警察車両がやってくる ・鑑識体験をしよう！

<消防>・機動鑑識車がやってくる

## 8 その他

①各コーナーにコーナー解説およびインストラクターを配し、見学者に展示内容をよく理解してもらえるようにする。

②市政だより等のマスメディアを通じた広報を積極的に行う。

③ポスターやリーフレットなどを作成し、幼稚園・小・中・高校や大学、市民センター等に配布・掲示し広報する。また、東北地区の科学館等の施設にポスターおよびリーフレットを配布する。

## 9 効果

本特別展を見学・体験することで、科学捜査について学び、科学的な知識や考え方を養うきっかけとなり、自ら学ぼうとする意欲を高めることができる。また、様々な紹介や体験を通して、科学技術への関心を高めることも期待できる。さらには、科学技術が私たちの生活へどのように生かされているかを考えるきっかけの一つとなる。

平成 29 年度仙台市科学館特別展入館料について

名称：【科学捜査展】

期間：平成29年7月15日（土）～平成29年8月20日（日）【開館：33日間】

仙台市科学館条例第5条第2項に基づき、特別展の入館料を下記のとおり定める。

### 記

1 個人入館料 一般900円 高校生700円 小学生・中学生300円

※特別展の入館料を納入したものは、常設展は無料とする。

2 団体入館料 10名以上の利用者は、一律100円引きとする。

3 減免の取扱 仙台市社会教育施設観覧料・入館料減免要領第3条第1項の規定に基づき減免する。